いちのみやの

社会福祉

一宮市社会福祉協議会

No.52

2022 6月号

福祉のまちづくり

（6月・10月・2月発行）

高校生の福祉活動

街頭募金　修文学院高等学校

校外体験学習　一宮北高等学校 福祉実践コース

高齢者施設訪問　一宮商業高等学校

Topics（トピックス）

- 令和4年度事業計画・予算
- ボランティア保険のご案内
- 赤い羽根作品コンクール作品募集
- 講座・教室参加者募集
- 支えあい通信
- ボランティア紹介リレー

おもちゃ図書館（おもちゃの城）一時閉館のおしらせ

浅井町のおもちゃ図書館(おもちゃの城)は空調設備工事実施のため、**令和4年6月1日(水)から8月15日(月)まで**の期間を閉館させていただきます。なお、丹陽町のおもちゃ図書館(なかよし)は通常通り開館します。

おもちゃ図書館(なかよし)

開館日時：毎週月・木・金曜日／毎月第1・第3土曜日（障害児のみ対象）
午前10時～午後2時（ただし、祝日、年末年始、暴風警報発令時は休館）

場所：丹陽町重吉字北屋敷380（ふれあいセンターなごみ内）

令和４年度　社会福祉法人
一宮市社会福祉協議会　事業計画書

少子高齢化・人口減少、介護や経済格差に伴う貧困問題、地域社会からの孤立などへの対応が求められている中、今般の新型コロナウイルスの感染拡大は、つながりの希薄化や生活困窮状態の深刻化を加速させ、福祉課題はより一層複雑・多様化しています。これまでの制度ごとの支援や「支え手」・「受け手」という関係の支え合いから、分野をまたがった総合的な支援と地域住民や多様な主体が「丸ごと」つながる支援へと転換することが求められています。

このような状況の中、国は「地域共生社会」の実現に向けて、地域にある課題を他人事（ひとごと）ではなく「我が事」として捉え、地域住民の共助による「ともに創る住みよいまちづくり」を目指し、「包括的支援体制」の整備を進めています。

さらに、国際的には豊かで活力ある未来を創る「持続可能な開発目標（SDGs）」が示され、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けて、官民一体となって取り組みが進められています。

こうした背景の中、地域福祉推進の中核を担う社会福祉協議会の役割はますます大きくなってきています。そのため、本会は地域生活課題の解決に向けて、住民主体の理念を掲げながら、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を深め、きめ細やかな地域福祉活動を展開してまいります。

住民一人ひとりがいつまでも暮らし続けたいと思える、みんなにやさしい安心、安全なまちづくりの実現を目指し、以下の基本方針により地域福祉の充実に取り組みます。

基本方針

1　地域課題への対応

介護保険制度等の公的サービスで対応できないニーズに対し、ちょこボラサービスなどの住民の助け合いの理念に基づく事業を進めるなど、住民主体の福祉のまちづくりを目指し、地域での生活支援の仕組みづくりを関係機関と連携して進めます。

地域での居場所づくりの一環として取り組まれている「ふれあい・いきいきサロン」につきましては、「出張サロン」や「サロンの立ち上げ支援」を引き続き実施し、新たに取り組む重層的支援体制整備事業への移行準備事業として、多機関協働の取り組みが円滑に進められるよう体制づくりを図ります。

また、災害の発生に備え、迅速に災害ボランティアセンターを設置し、円滑な運営ができるよう職員の資質向上に努めます。

2　地域福祉活動の推進

地域福祉事業につきましては、支会間の情報交換に努め、支会活動の充実を図るとともに、職員が積極的に地域へ出向き、支会との連携を深めます。

ボランティアセンター事業につきましては、「いちのみやボランティアフェスティバル」を開催し、ボランティア相互の交流を図るとともに、各種ボランティア講座等を開催し、ボランティアの育成に努めます。

障害者福祉活動事業につきましては、障害者スポーツを広める機会として、「障害者スポーツ推進事業」を実施し、障害者スポーツの普及に努めます。

日常生活自立支援事業につきましては、制度の周知に努め、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方が自立して生活できるよう支援します。

3　介護サービスの充実

介護保険・障害福祉サービス事業につきましては、介護ニーズが増加し続ける中、介護保険法・障害者総合支援法の改正、報酬改定などの影響を見極めるとともに、介護職員の人材確保を図り、収支改善を進めることで健全かつ安定した経営に努めます。

また、職員の福祉に関する資格取得の推進・バックアップと若手職員の育成・スキルアップのための研修体制の充実を図り、積極的にオンライン研修なども取り入れ、引き続き職員の資質向上に努めます。

さらに、「介護サービス情報の公表制度」の適格事業所、「愛知県介護事業所人材育成認証評価事業」の認証事業所として、ますます利用者から信頼される質の高いサービスを提供します。

4　安定した相談支援体制の確立

障害者相談支援事業につきましては、在宅の障害者の地域生活を支援するため、障害者とその家族等からの多岐にわたる相談に応じ、障害者基幹相談支援センターや障害者自立支援協議会等、関係機関と連携して問題解決に取り組んでいきます。

また、「指定相談支援事業所」として、障害者がその有する能力や適性に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう的確なケアマネジメントを行い、質の高い相談支援サービスを提供します。

5　法人運営の強化

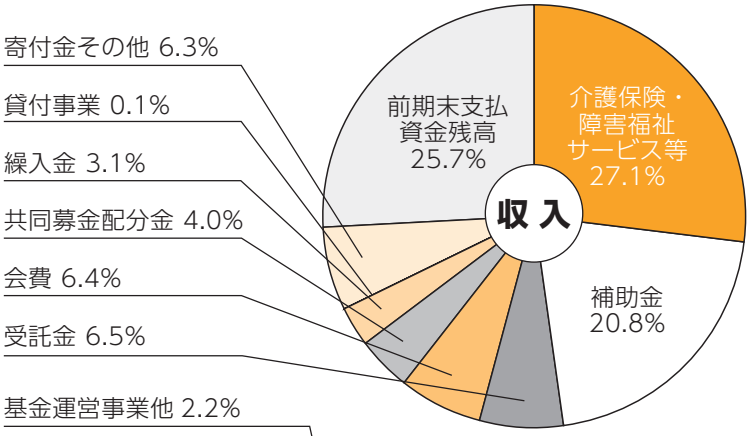
法人の経営組織の強化及び事業運営の透明性の向上、人材の育成、財務規律の強化、会員の増強を図り、広報紙、ウェブサイトを活用して市民にわかりやすい情報を発信し、信頼される法人運営に努めます。

また、働き方改革の実現に向け、安全で健康に働くことができ、やりがいを感じる職場づくりに努めます。

令和４年度 資金収支予算

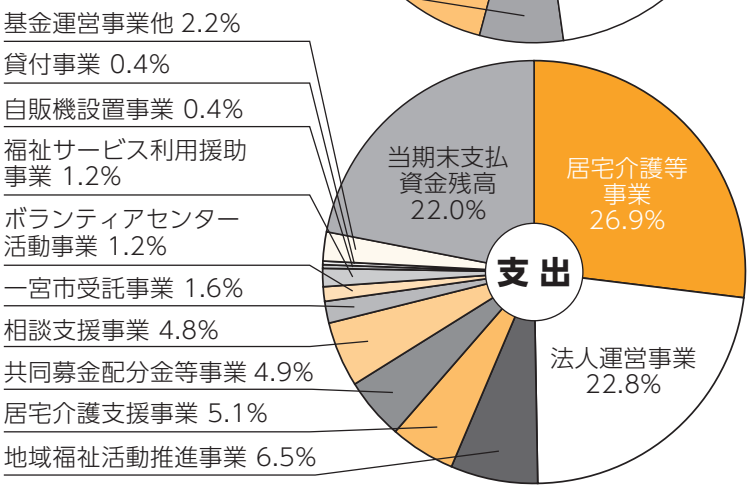
収　入　（単位：千円）

介護保険・障害福祉サービス等	226,715
補助金	173,676
受託金	54,753
会費	53,938
共同募金配分金	32,620
繰入金	25,697
貸付事業	1,059
寄付金その他	53,058
前期末支払資金残高	215,286
合計	836,802



支　出　（単位：千円）

居宅介護等事業	224,816
法人運営事業	191,059
地域福祉活動推進事業	54,582
居宅介護支援事業	42,817
共同募金配分金等事業	40,640
相談支援事業	40,486
一宮市受託事業	13,093
ボランティアセンター活動事業	10,179
福祉サービス利用援助事業	9,756
自販機設置事業	3,512
貸付事業	3,287
基金運営事業他	18,273
当期末支払資金残高	184,302
合計	836,802



文書公開の実施状況（令和3年度）

情報公開規程にもとづいた実施状況は以下のとおりです。申出件数1件:公開1件（うち部分公開1件）

ボランティア保険のご案内

●ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(賠償事故)などの事故を補償する保険です。

☑年間保険料

	A プラン	B プラン	C プラン
基本プラン	250 円	300 円	500 円
天災プラン	400 円	500 円	800 円

天災プラン
地震・噴火・津波
によるケガも補償

☑補償期間

加入日翌日から令和 5 年 3 月 31 日までとなります。

● ボランティア行事用保険

ボランティア活動に関する各種行事における主催者および参加者のケガや賠償責任を補償する保険です。

☑保険料

日帰り				宿泊
A 行事	B 行事	C 行事	現地集合行事	1 泊 2 日～
30 円	128 円	251 円	30 円	223 円～

☑補償期間

行事開催期間中となります。

★受付窓口：本部・尾西支部・木曽川支部
★手続きには代表者印もしくは団体印の押印が必要になりますので、忘れずにお持ちください。
★ボランティア行事用保険は、加入手続き完了後、加入者自身で指定口座に保険料をお振込みしていただきます。

『こどもボランティアスクール』開講のお知らせ

学校や学年の異なる子どもが互いに協力し合い、体験学習を行いながら「ふくし　～ふだんの くらしの しあわせ～」について学びます。

対　象：市内の小学5年生、6年生
定　員：20名(先着順)
参加費：無料
申込み：6月8日(水)～30日(木)午前9時から午後5時に尾西支部へ
(TEL63-4800)

【申込みに際しての注意】
・原則、全日程の参加としますが、5種類以上の参加が可能であれば受け付けます。
・申し込みは児童と保護者がよく相談し、必ず保護者が行ってください。

日　時		体　験　内　容	会　場
7月27日(水) *弁当持参	午前9時30分～ 午後3時	①お年寄りになってみよう!(高齢者疑似体験) ②防災について学ぼう！	尾西庁舎4階
9月 4日(日)	午前9時30分～ 午後3時	③目や耳の不自由な人と一緒に カレーを作って食べよう！	尾西庁舎5階
10月22日(土) 23日(日) *どちらか1日のみの参加でも可	午前9時30分～ 正午	④赤い羽根共同募金の 街頭募金をお手伝い！	尾西市民会館 (びさいまつり) 会場周辺
11月26日(土)	午前9時30分～ 正午	⑤車椅子ツインバスケをやってみよう！	尾西スポーツセンター
令和５年1月 8日(日) *弁当持参	午前9時30分～ 午後3時	⑥ボランティア探検隊 「まちのやさしさを探してみよう！」	尾張一宮駅前ビル (i-ビル)4階

*都合により、内容や場所を一部変更する場合があります。

第74回

赤い羽根 作品コンクール

＜作品大募集＞

【応募期間】

7月1日（金）～8月19日（金）

【受付時間】

午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日除く）

※提出先は下記＜留意事項＞をご覧ください。

募　集　作　品

【書道の部】

小学校3・4年生　「ぼきん」「赤いはね」「たすけあい」から1点

小学校5・6年生　「共同募金」「赤い羽根」「思いやり」から1点

中学校1～3年生　「共同募金運動」「赤い羽根募金」「地域福祉活動」から1点

＜注意点＞

①用紙は書道用半紙とする。

②書体は随意、墨書でたて書きとする。

愛ちゃん と 希望くん

©中央共同募金会

【ポスターの部】

小学校1年生～中学校3年生

「たすけあい」「社会福祉」「赤い羽根」「共同募金」などの意味を含んだもの。

＜注意点＞

画用紙の大きさは四つ切（54㎝×38㎝程度）とする。規格以外の画用紙を使った場合は対象外となります。

☆応募作品は各部とも1人1点に限ります。重複して提出しないようご注意ください。

優秀作品には、賞品プレゼント！たくさんのご応募お待ちしています。

＜留意事項＞

◎下記の申込書を本会ウェブサイトからダウンロードし、もれなくご記入のうえ、作品裏面に添付してください。

◎作品の返却は行いませんので、ご了承ください。

◎提出先は下記①～③となります。郵送または直接窓口にご提出ください。

※郵送の場合は令和4年8月19日（金）到着分まで受付いたします。

138sk 検索

①社会福祉協議会 本部
〒491-0858　栄3丁目1番2号
（尾張一宮駅前ビル4階）

②社会福祉協議会 尾西支部
〒494-8601　東五城字備前12
（尾西庁舎4階）

③社会福祉協議会 木曽川支部
〒493-0001　木曽川町黒田字西沼51
（高齢者生きがいセンター内）

赤い羽根作品コンクール申込書			
ふりがな			
氏　名			
住　所	〒 見本		
連絡先			
学校名		学年	

＜問合せ＞

一宮市共同募金委員会
（社会福祉協議会内）

一宮市栄3丁目1番2号
（尾張一宮駅前ビル4階）
TEL 85-7024

講座受講者募集！

手話奉仕員養成研修（入門）（全20回）

初心者・未経験者向けの講座です。一緒に手話を覚えましょう♪

日　時	7月6日～11月30日　毎週水曜日　午後7時～9時 ※ただし、祝日、8月10日は除く
会　場	社会福祉協議会　大和事務所　会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対　象	市内在住で、聴覚障害の福祉に理解と熱意を持ち、受講後は手話奉仕員として活動できる方
定　員	20名(先着順)
受講料	無料(ただしテキスト代3,300円が必要です)
申込み	6月3日(金)～17日(金)午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)

手話奉仕員養成研修（基礎）（全25回）

経験者向けの講座です。手話技術のレベルアップを目指しましょう。

日　時	6月28日～12月20日　毎週火曜日　午前9時30分～11時30分 ※ただし、8月16日は除く
会　場	社会福祉協議会　大和事務所　会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対　象	市内在住で、2年以内に手話奉仕員養成研修（入門）を受講した方、又は、手話サークルに在籍している方で、将来手話通訳者を目指す意思のある方
定　員	20名(先着順)
受講料	無料（ただしテキスト代3,300円が必要です）
申込み	6月2日(木)～16日(木)午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)

点訳講習会（全10回）

「点字って難しそう…」そんなイメージを持っている方はいませんか？本講座は、初心者でも安心して受講できる内容です！

日　時	6月28日～8月30日　毎週火曜日　午後1時30分～3時30分
会　場	社会福祉協議会　本部(栄3丁目1番2号　尾張一宮駅前ビル4階)
対　象	市内在住・在勤で視覚障害者の情報保障支援に関心があり ボランティア活動を希望する方
定　員	20名(先着順)
受講料	無料（ただし、テキスト代770円が必要です）
申込み	6月7日(火)～21日(火)午前9時から午後5時に本部へ(TEL:85-7024)

文字で伝えるボランティア講座（全5回）

「聞こえない言葉」を「目で見える言葉」にして伝えてみませんか？

日　時	7月5日～8月2日　毎週火曜日　午後1時30分～3時30分
会　場	尾西庁舎4階　会議室(東五城字備前12)
対　象	市内在住・在勤で要約筆記に関心のある方
定　員	10名(先着順)
受講料	無料
申込み	6月6日(月)～6月20日(月)午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)

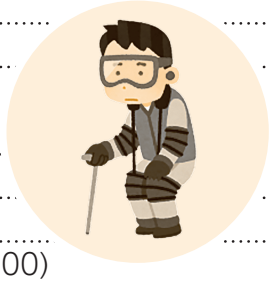
各講座に関する注意事項

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催中止または内容を変更する場合がございます。
その際は、ウェブサイトなどでご案内させていただきます。
また、実施する場合は、会場の換気などに配慮いたします。

高齢者疑似体験インストラクター養成講座

市内の小・中学校等で福祉教育を支援するボランティアを養成します！

日　　時	7月15日（金）　午後1時30分～4時
会　　場	社会福祉協議会　大和事務所　会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対　　象	市内在住・在勤で福祉教育に興味があり、受講後は高齢者疑似体験インストラクターとして活動できる方
定　　員	15名(先着順)
受 講 料	無料
申 込 み	6月6日(月)～20日(月)午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)



夏休みこども点字教室（全5回）

自分の好きな絵本で点字の本を作ってみよう！

日　　時	7月21日～8月25日　毎週木曜日 午後1時30分～3時30分　※ただし、8月11日は除く
会　　場	高齢者生きがいセンター2階(木曽川町黒田字西沼51)
対　　象	市内の小学5・6年生　点字に関心のある児童
定　　員	10名(先着順)
受 講 料	無料
申 込 み	6月7日(火)～30日(木)午前9時から午後5時に本部へ(TEL:85-7024)

夏休みこども手話教室（全5回）

手話で自己紹介にチャレンジしてみませんか？

日　　時	7月25日～8月29日　毎週月曜日　午後1時30分～3時 ※ただし、8月15日は除く
会　　場	尾西庁舎4階　会議室(東五城字備前12)
対　　象	市内の小学5・6年生　手話に関心のある児童
定　　員	20名(先着順)
受 講 料	無料
申 込 み	6月7日(火)～30日(木)午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)

美容ボランティアによる『ヘアカット』開催！

日　　時　6月27日(月)　午前9時～11時
会　　場　社会福祉協議会尾西支部(尾西庁舎4階)
対 象 者　市内在住・在勤・在学の障害者手帳所持者
　　要介護1～2の認定を受けている方
　　市役所福祉総合相談室に相談している方
定　　員　35名　※先着順
料　　金　無料
申 込 み　6月1日(水)～10日(金)
　　午前9時から午後5時に尾西支部へ(TEL:63-4800)
そ の 他　送迎はできませんので、会場まで直接お越しください。
　　簡単なカットのみで洗髪はありません。

美容ボランティア「美西グループ」による美容奉仕を行います。髪を整えて、こころも身体も気分転換しませんか？

支えあい通信

『支え合いボランティア講座』

定年退職して時間に余裕がある方、子育ての隙間時間に何かしたい方、人と話すことが好きな方、少しの時間を誰かのために使いたい方、自分の好きなことを活かしたい方…**あなたの力が必要です!**

講座受講者募集に関する共通事項

対　　象：支え合いの活動に興味のある方
定　　員：各講座20名
場　　所：大和事務所(大和町宮地花池字中道9-16)
申 込 み：6月1日(水)午前9時から本部へ(TEL85-7024)
注 意 点：申し込みの際に参加したい講座No.をお伝えください。
全ての講座に参加していただくことも可能です。
全ての受講日でボランティアに関する相談を受け付けます。

支え合いの活動について　～ちょこボラサービス協力会員の活動から学ぶ～

講座No.	日　時	概　要
①	7月14日(木) 午前10時～11時30分	『支え合い』についての講義とちょこボラサービス協力会員の方にボランティアを始めたきっかけや活動内容についてのお話をしていただき支え合いについて考えます。

■ちょこボラサービスとは
高齢者の日常生活の中で、ちょこっとしたお困りごとを住民同士で助け合うサービスです。

地域のボランティア活動について　～地域に根ざしたボランティア活動実践者から学ぶ～

講座No.	日　時	概　要
②	9月8日(木) 午前10時～11時30分	地域に根ざした取り組みを行っているボランティア団体から立ち上げの経緯や実際の活動についてのお話をしていただき支え合いについて考えます。

子育て支援団体の活動について　～子ども食堂実践者・子育て支援団体から学ぶ～

講座No.	日　時	概　要
③	11月10日(木) 午前10時～11時30分	子ども食堂の取り組みと市内で子育て世帯を支援している団体から立ち上げの経緯や実際の活動についてのお話をしていただき支え合いについて考えます。

障害支援団体の活動について　～障害のある方を支援している団体の活動から学ぶ～

講座No.	日　時	概　要
④	令和5年1月12日(木) 午前10時～11時30分	障害のある方を支援している団体から立ち上げの経緯や実際の活動についてのお話をしていただき支え合いについて考えます。

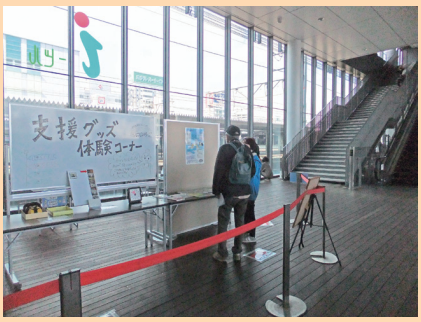
災害への備えを進めています！

「災害時等における協力体制に関する協定締結式」を開催し、公益社団法人一宮青年会議所と協定を締結しました。

一宮市内が災害に直面した際、災害ボランティアセンターの運営や、支援活動に協力していただくことはもちろん、遠方の被災地支援活動や、平時からの情報共有など、様々な面での協力を約束し、ともに一宮市の防災力を高めていきます。

イベント参加報告

いちのみや福祉ジョブフェスタに出展しました

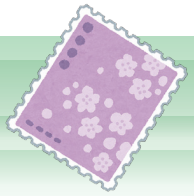


３月６日(日)に一宮市障害者自立支援協議会 生活支援部会主催の「いちのみや福祉ジョブフェスタ2022～みらいに逢を～」が開催されました。このイベントは、障害福祉分野に携わる事業所が集まり、福祉の仕事に興味のある方へ事業所のことや仕事内容を紹介する就職説明会です。今年は約２年ぶりの開催となりました。本会もブースを出展し、来場された方へお話をさせていただきました。

コロナ禍ということもあり例年のようなにぎやかな開催とはなりませんでしたが、来場された方は本当に職員の話に熱心に耳を傾けられていました。また、発達障害の疑似体験等を通して、理解を深める啓発活動を行っている「一宮発達障害キャラバン隊にじいろ」の方にもご協力いただきました。

来てくださった皆さん、どうもありがとうございました。

使用済み切手寄付ボランティア



お手元にある「使用済み切手」をご寄付いただくことで、切手業者や愛好家への販売により換金し、国内外の様々な福祉に役立てられます。身近にできるボランティア活動として始めてみませんか？

切手は封筒・はがき等からはがさずに、周囲を５㎜～１㎝の余白を残して切り取っていただき、本会へお持ちください。

本部、各支部、大和事務所にて随時受け付けております。

【問合せ】　本部　TEL85-7024

ご支援・ご協力ありがとうございました

令和3年度 赤い羽根共同募金最終実績 (実施期間:令和3年10月1日～令和4年3月31日)

募金種別	目標額 （円）	募金額 （円）	達成率 (%)
戸別募金	31,000,000	27,998,144	90.3
法人・個人大口募金	9,200,000	7,493,280	81.4
学校募金	1,400,000	1,210,757	86.5
街頭募金	500,000	311,016	62.2
職域募金	400,000	418,772	104.7
イベント・窓口募金等	500,000	1,171,845	234.4
合　　計	43,000,000	38,603,814	89.8

感染症対策を徹底して街頭募金を実施

令和２年度に引き続き、令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような募金活動の実施が困難な状況でした。しかし、このような状況下でも、町内会やボランティアの方々のご協力により、市民の皆さまから温かいご寄付をいただきました。

お寄せいただいた募金については、市内の生活課題や地域課題を解決するための様々な福祉活動のほか、県内の社会福祉施設への支援や災害時における「災害ボランティアセンター」の設置・運営など、被災地支援にも役立てられます。

令和4年度につきましても、“じぶんの町を良くするしくみ。”に引き続きご協力よろしくお願いいたします。

大口のご寄付をいただいた方に感謝状を贈呈しました。

多額のご寄付をいただいた法人・個人の皆さまに、県共同募金会長から感謝状を贈呈しました。

一宮市民生児童委員協議会　/　一宮市職員労働組合　/　有限会社マガジン　/
株式会社マサノ　/　株式会社星和　ミカドグループ　/
学校法人愛知真和学園　大成中学校　/　一般社団法人一宮市医師会　/
愛知県美容業生活衛生同業組合一宮支部　（敬称略・順不同）

一宮市共同募金委員会

災害義援金へのご協力ありがとうございました。

お寄せいただきました義援金は、中央共同募金会や、被災都道府県共同募金会を通して、全額被災されたみなさまへ届けられます。なお下記※の義援金については、引き続き募集しておりますのでご協力をお願いします。

令和３年大雨災害義援金
※平成30年7月広島県豪雨災害による義援金
※平成30年7月岡山県災害義援金
※愛媛県豪雨災害による義援金

善意のご寄付ありがとうございました

令和3年12月1日～令和4年3月31日

合計713,609円

（敬称略･順不同）

エス･ビー建材(株)　/　壱番屋　/　坂井田ビル　/　一宮市グラウンド･ゴルフ協会　/
坂井田将史　/　(株)一宮看板店　/　チャーチル会一宮　/　清水建設(株)　一宮地区職長会　/
(学)愛知真和学園　大成中学校　/　中部経済新聞社　尾張支社　/　尾西信用金庫　/
古金町1丁目町内会　/　世界平和統一家庭連合　一宮家庭教会　/　他匿名6件

令和3年度 福祉体験作文コンクール入選のお知らせ

愛知県社会福祉協議会が主催する「福祉体験作文コンクール」の入選作品が発表されました。県内の小中学校および高等学校から多数の応募があり、一宮市からは1編が愛知県社会福祉協議会の優秀作品に選ばれました。入選作品は本会のウェブサイトに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

入　選　者

一宮市立大和東小学校　　1年　角田　杏　「げんきですか」

（令和3年度時点の在籍学校・学年　　敬称略）

ワンポイント Q&A

糖尿病重症化予防について

質問：先日人間ドックの結果が送られてきたのですが、糖尿病予備軍と言われました。日常生活で気を付けることはありますか？

答　：食事からとったブドウ糖は、血液によって全身に運ばれ、身体を動かすエネルギー源として使われます。

すい臓から分泌される「インスリン」というホルモンの働きが悪くなったり、量が不足すると、ブドウ糖を血管から細胞に取り込んでエネルギーにすることがうまくできなくなります。

このために、血液中に含まれる糖（血糖）が増え、高血糖状態になります。この状態が続くと、糖尿病と診断されます。高血糖の状態が続くと、血管が傷つきやすくなり、動脈硬化が進み、全身に深刻な合併症を引き起こしやすくなります。

○ 糖尿病はなぜ怖い？

糖尿病になっても、初期の頃は自覚症状がほとんどありません。そのため、自分が糖尿病であることに気づいていない人がいます。また、糖尿病と診断されていても、放置すると、病気が進行して、命にかかわる 合併症を引き起こすことがあります。血糖値が高い状態が続き、悪化してくると「のどが渇き、水分をよくとる」、「尿の回数が増える」、「疲れやすい」、「体重が減る」といった症状がでます。

○ 糖尿病の予防

日本人の糖尿病の 90%以上は、遺伝的な要因に運動不足・喫煙・ストレスなどの生活習慣が影響して発病する2型糖尿病です。

① **体重を管理する**：標準体重を目標にしましょう。

② **食生活に気を配る**：食べ過ぎない、よくかんでゆっくり食べる（早食いしない）、野菜を食べる。お酒はほどほどに、休肝日をつくる。

③ **運動する**：ウォーキングする、階段を利用する、早歩きする、ストレッチ運動をする。

④ **健診を受けて、その結果を活かす**：毎年、健診を受けて、糖尿病や糖尿病の兆候を早目に見つけることが大切です。健診の結果「血糖値が高い」と言われたら、医療機関を受診するなどし、専門家に相談しましょう。

ボランティア紹介リレー

第26回

prop　いちのみや大学

今回は、『prop』からの紹介で、『いちのみや大学』をご紹介します。

「いちのみや大学」とは？

一宮の歴史や文化・産業のことを学んだり、一宮ゆかりの知識のある方からお話を伺ったりして、共に学ぶ団体です。2009年に「大ナゴヤ大学」の活動を新聞記事で読み、一宮にもこのような活動が欲しいと思ったことがきっかけで、同年10月1日から活動を始めました。

史跡巡りハイキング

主な活動や目的は？

月に1回ほど「一宮」をキーワードにした多岐にわたる講座を開催しています。

特に歴史の講座はとても人気がありますが、今はコロナ禍ということもあり屋内で大人数での講座は控えています。しかし、この機会を活かして、ハイキングをしながら歴史の勉強をするという取り組みも行っています。

また、講師を一宮に所縁のある方に依頼することで、受講者と講師との繋がりや、地域の活性化を期待しています。

活動のやりがいは？

長く一宮に住んでいると「当たり前」と思っていたことが、実は魅力ある地域資源だったりします。その「当たり前」を改めて知ることで、新たな発見をすることがあります。

また、講座を通して、今まで関わることのなかった人や場所がつながったりすることがやりがいのひとつと言えるのではないかと思います。

歴史講座

市民の皆様へひとこと

一宮には、真清田神社をはじめ、古墳、城址などの歴史的遺産や、祭り、文化、頑張っている個人商店、世界に誇れる企業もあります。また、様々な知識や技術を持った人たちもいます。そういった魅力を、「いちのみや大学」の講座を通して皆さんに紹介したいと思っています。

活動につきましては、「いちのみや大学」のウェブサイトをご覧ください。

https://ichinomiyadaigaku.com/

取材を終えて

これまでに180回程の講座を開催されており、「講座の内容を考えるのは大変ではないですか？」と質問しました。すると、「一宮市について色々学ぶことはとても楽しいし、知りたいことはたくさんあるので内容には困りません。」と楽しそうに話された姿がとても印象的でした。講座を開くこともちろん大切な目的ですが、一宮を知ることは地域の活性化になり、人と人がつながっていく点に喜びを感じていらっしゃることを、取材を通じて感じました。

妙興寺見学

おすすめ福祉の本

あおぞらこども食堂はじまります！

図書館で借りることができます。

いとう　みく/作　丸山　ゆき/絵　ポプラ社

あおぞら食堂は、ハルさんとあさやけ町のみんなではじめたこども食堂。ハルさんがこども食堂を始めたきっかけは、公園でひとりパンを食べていた女の子と友だちになり、ひとりで食事をしているこどもが多いことを知ったからでした。

いろんな事情を抱えた子のために始めたこども食堂に、たくさんの人が関わり地域の輪を作って行きます。

全国に拡がるこども食堂を舞台にした、心があたたかくなる作品です。

学校の福祉活動紹介　一宮商業高等学校

愛知県立一宮商業高等学校では、生徒達が自ら内容を考え実践する科目『課題研究』を行っています。その中の国際ビジネス科の講座には、福祉とも密接に関わる内容が多くあり、様々な主体と協働して課題研究が進められています。また、地域貢献部という部活動においても取り組みが行われています。そこで、今回は一宮商業高等学校の活動の一部をご紹介します。

国際ビジネス科課題研究『地域応援プロジェクト』

国際ビジネス科は国際的な視野に立ったビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養うことを目標に様々な活動をしています。そして、3年生になると生徒達自らが地域課題に対してできることを考え、実践する課題研究を行っています。

課題研究の一つに『地域応援プロジェクト』というものがあり、地域ボランティアの企画及び地域イベントへの参加を行っています。学生ならではの柔軟な視点で行われる企画や活動が多くあります。

令和3年7月23日(金・祝)イオンモール木曽川にて子どもたちが自由にお絵かきをして、うちわのフレームに貼りつけるイベントが実施されました。昨年度実施できなかった七夕祭り用のうちわを再利用し、SDGsや環境問題なども考えられています。また、新型コロナウイルスの影響によって人と人の繋がりが少なくなっていますがこのイベントを通して、子ども同士の交流や保護者同士の交流もできたのではないかと思います。

子育て支援団体であるiriefamのフードパントリー（食材配布）活動に協力しました。

一宮商工会議所創立100周年記念事業の『一宮お笑いの日』に受付等のボランティアとして協力しました。

地域貢献部の活動について

地域貢献部では校舎の屋上でミツバチを自分たちで育て、そこで採れた貴重な蜂蜜をアレンジし、商品化しています。そして、この商品などを使って地域への貢献活動を行っています。

クロガネモチを主とした植物から採れる蜂蜜を採取するため、校内でセイヨウミツバチを育てています。

和菓子屋「いちの」とコラボした「どらはちくん」(蜂蜜入りのどらやき)を作成し、販売しました。

地域貢献部員20名がナーシングホーム北斗(木曽川、開明、千秋)を訪れ、作成した「どらはちくん」を利用者の方にプレゼントするとともに、楽しんでいただけるレクリエーション活動を合わせて行いました。利用者の皆さんも喜んでくださり、楽しい時間を提供することができました。

取材を通して、一宮商業高等学校では課題研究や地域貢献部など、他の高校にはないユニークな取り組みがされていることが分かりました。今後も特色ある学校活動に期待しています。

令和4年度 新入職員紹介

今春、新たに２名が一宮市社会福祉協議会の職員として加わることになりました。
皆さんに早く顔と名前を覚えていただくため、簡単ですが紹介いたします。

①氏名
②趣味
③好きな食べ物
④性格
⑤ひとことPR

①松川侑以（まつかわゆい）
②音楽鑑賞・ドライブ
③お寿司・ケーキ
④シャイ
⑤初めは、シャイな印象を持たれると思いますが、人とコミュニケーションを取ることは大好きです。

①加藤そらみ（かとうそらみ）
②読書
③ハンバーグ
④マイペース
⑤マイペースな性格ですが、地域を盛り上げるために、積極的に頑張ります。よろしくお願いします。

どうぞよろしくお願いします。

車いす使用の職員発信

車いすといっしょに

第16回「こどもボランティアスクール」

私の入職以降恒例となった、こどもボランティアスクール「ボランティア探検隊」を、令和３年度に、２年ぶりに開催することができました。i-ビルや名鉄一宮駅、中央図書館を会場に、車いすでの生活を体験しました。体験後は、立っているときとの目線の違いや、車いすの高さにあわせた図書館のカウンターなど、それぞれが気づいたことを出しあってグループ発表を行いました。名鉄一宮駅での「ホームではブレーキを」という車いすやベビーカーに向けた案内に対し、受講者が自ら気づいて発表に活かす工夫もみられました。

単に使い方を知るだけでなく、公共の場で車いすを体験したことが、皆さんのより良い学びにつながれば幸いです。（小鹿）

障害者スポーツの紹介 「車いすテニス」

今回は、日本の選手が世界のトップで活躍する競技、「車いすテニス」をご紹介します。東京パラリンピック男子シングルスで金メダルを獲得した国枝慎吾選手の活躍で、ご存じの方も多くいらっしゃると思います。

この競技で使用するコートやネット・用具は、テニスと同じものです。選手は、他の競技と同様に、身体の機能に応じてクラス分けされます。

男女別の競技のほか、上肢にもマヒがある選手が出場する「クァード」というクラスもあります。電動車いすでのプレーや、男女ペアによるダブルスなど、クァードの競技スタイルはより多様です。「２バウンド以内の返球が可能」という点はテニスと異なりますが、相手の打球のコースを予測した対応や、車いすの性能を踏まえた方向転換など、とくに操作技術が求められます。

広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

スリランカ低開発村に住む人のための研修

JICA・TFGプロジェクトの事例-その2

NPO法人タランガフレンドシップグループ(TFG)は、2007年度と2008年度の2年に渡ってJICA草の根技術協力事業としてTFGプロジェクトを行いました。農業経営、基礎農業、機械化農業の研修や、作った物を売る場として州都クルネーガラの市場での販売ネットワークの構築を行いました。

農家を訪問してわかったことがあります。父親が若くしてなくなると、母子だけが残り、経済的に困窮します。日本なら生活保護などがあり、生活ができますが、途上国では本当に貧しいままです。

スリランカの農業といっても家庭菜園を少し大きくした程度の家族が多く、一人当たりの農地は狭いです。水田では、日本から輸入したかなり古いトラクターが現役として使われていました。中古の日本製トラクターを自慢する農民にも会いました。なお、比較的安い中国製トラクターを使っている農民もいました。但し、よく見るとエンジンだけ日本製でしたし、耕運機の動きもバランスがあまり良くなかったです。残念ながら、新品は高くて買えないようです。(日置)

TFGプロジェクト　農業経営研修
北西州の研修施設で2008年6月撮影

みんなの活動 大募集中!

3月末にまん延防止等重点措置が全国一斉に解除され、３回目ワクチン接種率も徐々に上昇していますが、まだまだ油断できない日々が続いています。皆様も感染対策をしっかり行った上での行動をどうかよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍が始まってから２年半近く、ボランティア活動もグループ活動もほとんど行うことが出来ず、皆様の活動内容をお届けすることが難しくて残念に思っておりました。

しかしながら、明るい兆しも見え始め、市民の皆様も少しずつ行動を開始されているように感じます。私どもも行動を開始されたグループがございましたら、積極的に取り上げて紹介していきたいと考えておりますので、ぜひ社会福祉協議会までご一報ください。皆様の活動を取材し、市民の皆様へお届けできる日を楽しみにしております。

あともう少し、感染対策を徹底した上でみんなで乗り越えて行きましょう。（岩下）

いちのみやの社会福祉
2022年 6月号 No.52

ご利用ください

★車いすの貸し出し

対 象 者 ：身体に障害のある方、けがをされた方などで、一時的に利用が必要な方にお貸しします。
利 用 料 ：無料
貸出場所：本部・尾西支部・木曽川支部・大和事務所

ボランティアセンターにご登録を！

登録すると、ボランティアに関する情報発信のほか以下の特典もあります

★会議室の利用

尾西支部・木曽川支部・大和事務所の会議室やボランティア室の貸し出しを行っています。

★用具の貸し出し

高齢者疑似体験セットなどの福祉用具や、レクリエーション用具、マイクセットなどの貸し出しを行っています。

貸出用具の一部

非接触型温度計

サーキュレーター

ラダーゲッター

ボランティアさん大募集

あなたの力を貸してください!!

● ちょこボラ協力会員

自分のできる範囲で、困っている高齢者に、“ちょこっと”したお手伝いをしてみませんか？
企業・法人会員も募集中

● 一芸ボランティア

施設やサロンなどで、歌や踊り、手品などの披露や、小物作りの指導などを行っていただける方を募集中

● おもちゃ図書館運営ボランティア

市内に２か所（浅井町、丹陽町）あるおもちゃ図書館で、受付やおもちゃの作成などをしていただける方を募集中

【問合せ】本部 TEL85-7024

?応募！クイズ

図書カード ¥1,000

こども向け講座の対象は市内の小学何年生でしょうか？ ヒント 4、7ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします！
①クイズの答え②本紙に対するご意見・ご感想
③住所④氏名⑤年齢
を明記の上、ハガキにてご応募ください。
【令和4年6月30日(木)必着】
〒491-0858一宮市栄3丁目1番2号　尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて

2月号クイズ当選者発表(応募総数113通)
丹下様(大和町) 栗本様(西成) 田口様(大和町) 加藤様(丹陽町) 伊藤様(丹陽町)おめでとうございます。
クイズの答え：逢

市内の福祉・保健・医療関係者の皆さまへ

広告募集中

【掲載枠】1枠　縦55㎜×横80㎜ 【掲載料】1回1枠　20,000円	最大4枠 複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(TEL:85-7024)まで

本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト　http://www.138sk.org

編集・発行 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会
〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号（尾張一宮駅前ビル4階）
TEL（0586）85-7024